

# 広島市植物公園 見どころ案内

**アシタバ**（セリ科）  
関東（房総）～紀伊半島にかけての太平洋側に自生する海岸植物。青汁の原料としても有名で、八丈島の特産品です。花が咲いています。

**展示会のご案内**

◇展示温室（7/18～8/16）  
世界の食虫植物展

◇展示資料館（8/8～8/31）  
おし花美術作品展

**ウツボカズラ**（ウツボカズラ科）  
今年の「世界の食虫植物展」はウツボカズラのなかまの展示に特に力をいれており、様々な種類をご覧いただけます。

**キレンゲショウマ**  
（アジサイ科）  
そはやき要素（紀伊半島～四国～九州南部が分布域）を代表する植物。小説「天涯の花」で紹介された花です。

**ナベナ**（スイカズラ科）  
キク科の花のような球状の頭花をつけています。和名の由来ははっきりしません。「鍋菜」とする説明もありますが、食用向きの植物ではなく、古い文献でこの漢字を当てた記載もありません。

**アガベ‘雷神’**  
（リュウゼツラン科）  
小型のリュウゼツランのなかま（ポタトルム種）です。一生に一度だけ花をつけ、結実するとその株は枯死します。

**スズムシバナ**  
（キツネノマゴ科）  
近畿以西に生える多年草。スズムシの鳴くころに涼しげなブルーの花を咲かせます。石灰岩地を好む植物です。

- ミソハギ
- カエデ園
- 日本庭園
- レンゲシヨウマ
- キジユ
- ツツバキ園
- ハナセンナ
- アサザ
- イイベント広場
- アベリア
- アサザ
- グロリオサ
- サンゴジュ
- マンデビラ

**ビワモドキ**  
（ビワモドキ科）  
インド・東南アジア原産。葉はビワに似ていますが、葉質はより柔らか。地植えの株は定植後初開花です。果実は食用。

**ヒマワリ‘サンフィニティ’**  
（キク科）  
花は少し小ぶりですが、枝分かれして多くの花をつける品種です。一面のお花畑をお楽しみいただけます。

- △クゲ
- スイフヨウ
- ルリマツリ
- ハブソウ
- オジギソウ
- オーストラリアバオバブ
- サガリバナ

**ワシントンヤシモドキ**  
（ヤシ科）  
米国カリフォルニア州・メキシコ北部原産。見上げると花がよく咲いています。開園当初に植えた植物で、当時は樹高がわずか3m程度でした。

**アメリカノウゼンカズラ**  
（ノウゼンカズラ科）  
アメリカ原産。長い花筒の形から、英名はトランペットバイン（らっぱの蔓）。ハチドリが送粉する鳥媒花。大温室では、同じ科のソーセイジノキの実がついています。

**モミジアオイ**（アオイ科）  
北米原産のハイビスカスのなかま。別名は紅蜀葵（こうしよつき）。20センチ近くある大きな花をつけます。幕末の1863年に渡来した古い観賞植物です。